

成果指標				
成果指標	使用料金収入÷一般管理費(直接事業費)			
指標設定の考え方	簡易水道施設を維持管理するための事務的経費で、料金収入に占める一般管理費の割合を数値化し年度比較することで、費用対効果を常に意識した事務の遂行が可能となる。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	6.5	6	0	0
実績	5.06	6.17	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	中山・双海地域の簡易水道施設においては、人口の少子化・高齢化、自然減の増大、若者などの流出が益々増し併せて節水意識の高揚などで、以前よりも使用水量の減少が顕著に現れている。そのような状況の中で水道料金にあっては微増ではあるが前年度よりも増収となっており、今後においても継続した収益の増に努める必要がある。今後、更なる事務の効率化を図り、今以上の経費削減に努める必要がある。いずれにしても経営効率の低いこの事業においては、水道料金の見直しは喫緊の課題である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	簡易水道施設は、中山・双海の中山間地域に存在し地域の生活基盤を支え確保するための重要な施設である。今後とも継続した円滑な運営を行う必要があることから、経営効率の向上や更なる効果的な事務への取組み及び経費の削減に努めると共に、一般会計への依存度を少しでも軽減するため、水道料金の見直しについても鋭意取組む必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会の抽出事業により、外部評価に諮ることとする。

行政評価委員会の答申

<p>外部評価 (行政評価委員会)</p>	<p>・中山、双海地域の生活基盤を支える重要な施設であり、中・長期的な対策を市レベルとともに、国・県レベルで講ずる必要があると考える。・簡易水道会計への繰入金が増大しており、水道料金の見直し、施設の統合など、中・長期的な対策に取り組むことが必要である。・過疎地域共通の問題であり、国・県での財政対策についても要望すべきではないか。・簡易水道事業に関して全体が見えてこない。関連事業を1本にしてもらうのが市民の希望である。・全ての事業をシミュレーションし、償還も含めて示していただきたい。・簡易水道事業とはこういうものであると、一般財源から拠出してくるお金の推移を示していただければと思う。・上水道も簡易水道も使う側としては同じ水道水である。料金が違うのは利用者からするとおかしい。同一料金にすべきだと思う。・ご苦労な点が明確に伝わってきた。合併してなお課題をどうにか克服しなければならないということだろう。理想論からすると、同じ料金体系が当たり前である。どの地域の住宅にも必ず水があるということではないことも含め、今後の課題として認識いただきたいと思う。</p>
---------------------------	---

経営者会議の最終判断

<p>事業の方向性</p>	<p>現状のまま継続する。</p>
<p>意見、課題</p>	